

【学校の配慮】
今年度は中学校の校長先生が開催期間中東大塾を見守り、印刷物等の協力体制を整えていただきました。また、授業参観においては、各学校（三校）から多くの先生方が激励に来ていただきました。

【自然（台風）とのたたかい】
台風十一号の接近により、講師が二名（二日目に一人、四日目に一人）本島に戻ったり、八月七日の閉講式が二日間前倒しされるというハプニングもありました。最後の二日間が短縮されるといふ事の重みは東大生の中にも強くあり、限られた時間をどのようにするのか、日々葛藤や模索の連続でした。昨年度実施した事後テスト後の更なる向上を目指す「ジャンプテスト」はやむなく見送りしました。

【東大生の奮闘】
東大生との打合せは毎日数時間に及びましたが、昨年同様、彼らは、宿に帰ってから夜中の一時〜二時まで次の日の教材研究や自己評価表のコメント書きをしていました。

自己評価表が三種類に増え、児童生徒も昨年度の三十一名から七十名へと倍増したことによって、東大生に係る負担は、大きかったことはいなめません。しかし、彼らは各人が関わっている子どもを思い浮かべながら三教科分の自己評価表を激励し続けました。児童生徒達は、日を追うごとに、その日の課題を家庭で学習し、次の日の目標設定の仕方などが少しずつ身についてきました。

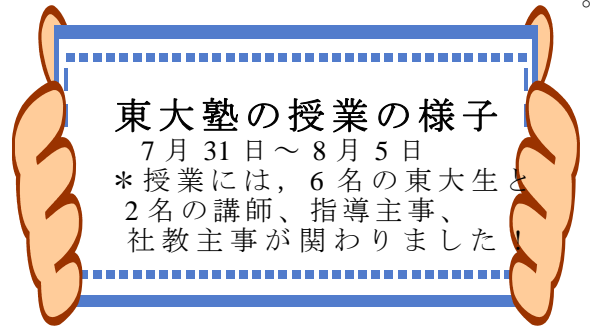
【児童生徒の変容】
「分かる喜び」を知った児童生徒の目は輝き、まさに『自立↓集中↓反復↓努力↓定着↓合格（目標達成）』のサイクルがどんどんまわるようになってきました。塾のない伊平屋村の児童生徒は、東大塾で「日一本勉強ができる学生」から刺激を受け『主体性』を持ち、自らの問いに『気づき』、答えを「見つける」喜びを知り児童生徒へと少しずつ変容が見られるようになりました。



堀江 祐里さん
工学部 4年



橋本 篤徳さん
教育学部 3年



東大塾の授業の様子

7月31日～8月5日
*授業には、6名の東大生と2名の講師、指導主事、社教主事が関わりました。



新里 利和先生
元港川中学校教務



菅井 皆穂さん
法学部 4年



渡辺 規子さん
教養学部 3年



木山 淳一先生
琉球大学附属中教諭



葭内 優さん
文学部 4年



梶 文乃さん
教育学部 4年

算数・数学及び理科は各学年を習熟度別（二クラスに編成し、指導主事と講師は東大生を補佐（支援）しながら、より個別に対応できるように配慮しました。

平成 26 (2014) 8 月 20 日 (水)



教育長 労いのことば

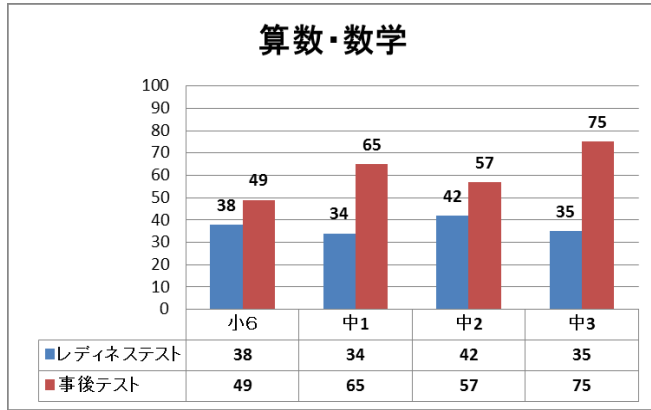
閉講式 (8 / 5)

- 1 開式のことば 司会
- 2 労いのことば 教育長
- 3 生徒あいさつ 伊小児童会長
伊中生徒会長
- 4 講師あいさつ (7名講師) 指導主事
- 5 全体講評 指 導 主 事
- 6 閉式のことば 司会

【八月五日の閉講式】伊平屋村離島振興総合センター近大ホールにて実施しました。本年度は、例年とは異なる近大の生徒が、伊平屋村離島振興総合センター近大ホールにて実施しました。

【テスト結果】事後テストの結果は下のグラフ通りです。どの学年も、変化が見られます。中一、中二、中三、中四のテスト終了後、児童生徒達は、この三日間を振り返り、三日間の振り返り、評価表の振り返り、感想文を大書きしました。

レディネステストと事後テストの平均の変容



【八月五日の事後テスト】八月五日の事後テストの結果は下のグラフ通りです。どの学年も、変化が見られます。中一、中二、中三、中四のテスト終了後、児童生徒達は、この三日間を振り返り、三日間の振り返り、評価表の振り返り、感想文を大書きしました。事後テストの結果は下のグラフ通りです。どの学年も、変化が見られます。中一、中二、中三、中四のテスト終了後、児童生徒達は、この三日間を振り返り、三日間の振り返り、評価表の振り返り、感想文を大書きしました。

2014 東大塾 in 伊平屋 (記念撮影)



【東大生との記念撮影】八月六日(水)、前泊港において、一週間のお礼を込めて、東大生と一緒に記念撮影を行いました。東大生は、児童生徒から感謝の思いでも、児童生徒と一緒に記念撮影を行いました。

閉講式は、教育長の労いの言葉、児童代表の挨拶、指導主事の全体講評と、七名の挨拶を行いました。① 二名の東大生は児童生徒達の心の中に『小さな種』を宿してくれたこと。② この体験を忘れてはいけないこと。③ 周りの人々に東大塾での様子を伝えて欲しいこと。④ 本気で学んだこの経験が次に生かされ、将来の伊平屋を担う人材になって欲しい。児童生徒は、厳粛に聴いていました。また、東大生一人一人から大切な言葉や、想いを受け、今後の学校生活や家庭生活、そして将来につながる欲しいと切望しました。

東大塾を終えて、今年も実施しながら改善が、児童生徒の学力向上に貢献しています。この一年、東大塾の活動を通して、児童生徒の成長を支援し、地域社会に貢献することを目標として取り組んでまいりました。今年度も、児童生徒の成長を支援し、地域社会に貢献することを目標として取り組んでまいりました。

感動的なフェリー送りが今年も実施されます！

